

2011年3月14日

IMF-JC議長 西原浩一郎 殿

日本の金属労働者と連帯して

拝啓 IMFは、世界100カ国の200を超える労働組合に加入する金属労働者2,500万人の利益を代表して、2011年3月11日に日本の東北地方が悲惨な地震と津波に襲われたことを受け、IMF-JCに心からの哀悼の意と連帯メッセージを送ります。

2011年3月11日の地震と津波がすさまじい荒廃をもたらし、大勢の方々が亡くなったことに、全世界の人々がショックを受けています。世界中の金属労働者が、この悲惨な災害で多大な損失を被った組合員ならびに労働者とご家族の皆様に連帯と弔意を表しています。

多くの人命が失われただけでなく、今回の地震は日本のインフラや多くの産業施設に途方もない損害を与えており、労働者とご家族の方々に今後ずっと影響を与えるでしょう。

IMFはICEM（国際化学エネルギー鉱山一般労連）と協力して、労働者と一般の方々の安全に不安を与え続けている原子力発電所の被害状況についても、引き続き監視することにしていきます。

損害の全容を把握し、この大災害への最善の対策を決定するのに、少し時間がかかるであろうことは承知しております。また、IMF-JCと日本の労働組合が当面この問題を最優先なさるおつもりであることも心に留めています。

可能な限りご支援できるよう態勢を整えております。

連帯をこめて

IMF書記長 ユルキ・ライナ